



平成 29 年 11 月 1 日

各 位

会社名 ヤマハ株式会社  
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也  
(コード番号 7951 東証第 1 部)  
問合せ先 広報部長 瀧澤 勉  
(TEL 03-5488-6601)

## 2018 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績の概要と 通期連結業績予想について

### □ 第 2 四半期累計業績の概要

#### — 対前年同期増収・減益 —

2018 年 3 月期第 2 四半期累計の売上高は、前年同期に対し 106 億円 (5.3%) 増加の 2,098 億円となりました。なお、為替影響は 80 億円でした。

損益については、営業利益は 7 億円 (2.9%) 減少の 239 億円、経常利益は 2 億円 (1.0%) 増加の 247 億円となりました。また、前年同期に繰延税金資産 136 億円を計上していたことから、親会社株主に帰属する当期純利益は 76 億円 (27.8%) 減少の 196 億円となりました。なお、営業利益への為替影響は△13 億円でした。

#### <事業セグメント別の売上高・営業損益の状況>

##### ・楽器事業 売上高 1,342 億円 (前年同期比 4.4%増) 営業利益 166 億円 (前年同期比 11.5%減)

アコースティックピアノおよびデジタルピアノは、中国での 2 桁成長が全体を牽引し、増収となりました。ポータブルキーボードは、デジタルピアノへの買い上がりもあり、伸び悩みました。管楽器は日本および中国での販売が好調だったほか、ギターも中国をはじめとするアジア地域で売上げを伸ばしました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に対し 52 億円の為替影響も含め、57 億円 (4.4%) 増加の 1,342 億円となりました。

営業利益は、△11 億円の為替影響のほか、一時的な経費の発生等により、22 億円 (11.5%) 減少の 166 億円となりました。

##### ・音響機器事業 売上高 576 億円 (前年同期比 8.6%増) 営業利益 52 億円 (前年同期比 7.1%増)

オーディオ機器が全体的に堅調に推移したほか、PA 機器は中国をはじめとする新興国での販売が好調でした。ICT (情報通信) 機器は、音声コミュニケーション機器やネットワーク機器が売上げを伸ばしました。

セグメント全体の売上高は、前年同期に対し 27 億円の為替影響も含め、46 億円 (8.6%) 増加の 576 億円となりました。

営業利益は、△2 億円の為替影響を吸収し、3 億円 (7.1%) 増加の 52 億円となりました。

##### ・その他の事業 売上高 181 億円 (前年同期比 2.1%増) 営業利益 21 億円 (前年同期比 108.2%増)

FA 機器が売上げを大きく伸ばしたほか、電子部品およびゴルフ用品も好調に推移し、売上高は 4 億円 (2.1%) 増加の 181 億円となりました。

営業利益は、11 億円 (108.2%) 増加の 21 億円となりました。

## □ 2018年3月期業績予想について

### — 業績予想を据え置き、過去最高営業利益を予想 —

2018年3月期連結業績予想は、8月1日公表時の、売上高 4,320億円（前期比 5.8%増）、営業利益 500億円（前期比 12.9%増）、経常利益 500億円（前期比 11.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 390億円（前期比 16.5%減）を据え置きます。営業利益 500億円は、2004年3月期の451億円を更新する過去最高益となります。

当社は、2016年4月に発表した中期経営計画「NEXT STAGE 12」において、最終年度となる2019年3月期の経営目標として売上高営業利益率12%を掲げておりますが、2018年3月期は11.6%となる見込みです。

なお、本予想における想定為替レートは、前回予想の対 US ドル 110 円、対ユーロ 125 円から変更しておりません。

注) 文章中の売上高、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2018年3月期 第2四半期業績資料

ヤマハ株式会社  
2017年11月1日

	前第2四半期実績 (16/4~16/9)	当第2四半期実績 (17/4~17/9)	前期実績	当期予想	前回当期予想 (17/8/1発表)
	17年3月期	18年3月期	17年3月期	18年3月期	18年3月期
売上高	1,992億円	2,098億円	4,082億円	4,320億円	4,320億円
国内売上高	676億円 (33.9%)	667億円 (31.8%)	1,384億円 (33.9%)	1,377億円 (31.9%)	1,382億円 (32.0%)
海外売上高	1,316億円 (66.1%)	1,431億円 (68.2%)	2,698億円 (66.1%)	2,944億円 (68.1%)	2,938億円 (68.0%)
営業利益	246億円 (12.4%)	239億円 (11.4%)	443億円 (10.9%)	500億円 (11.6%)	500億円 (11.6%)
経常利益	245億円 (12.3%)	247億円 (11.8%)	449億円 (11.0%)	500億円 (11.6%)	500億円 (11.6%)
当期利益 <sup>(※1)</sup>	272億円 (13.7%)	196億円 (9.4%)	467億円 (11.4%)	390億円 (9.0%)	390億円 (9.0%)
為替レート(決済レート) <sup>(※2)</sup>	107円/US\$ 123円/EUR	111円/US\$ 122円/EUR	108円/US\$ 121円/EUR	111円/US\$ <sup>(※6)</sup> 126円/EUR	110円/US\$ 123円/EUR
ROE <sup>(※3)</sup>	17.7%	10.2%	14.0%	10.0%	10.2%
ROA <sup>(※4)</sup>	11.5%	7.0%	9.4%	7.0%	7.2%
1株当たり利益	145.1円	104.8円	249.2円	208.0円	208.1円
設備投資 (減価償却費)	63億円 (54億円)	112億円 (54億円)	175億円 (111億円)	263億円 (108億円)	259億円 (108億円)
研究開発費	119億円	122億円	244億円	257億円	263億円
(キャッシュフロー)					
営業活動	53億円	96億円	391億円	510億円	510億円
投資活動	▲ 63 億円	▲ 117 億円	▲ 97 億円	▲ 270 億円	▲ 270 億円
フリーキャッシュフロー	▲ 10 億円	▲ 21 億円	294億円	240億円	240億円
期末在庫高	945億円	1,039億円	931億円	927億円	921億円
(要員数)					
国内	6,149人	5,952人	5,937人	5,900人	5,900人
海外	14,384人	14,479人	14,238人	15,000人	15,000人
正社員計 <sup>(※5)</sup> (連結範囲変動による増減)	20,533人 (▲ 124人)	20,431人 -	20,175人 -	20,900人 -	20,900人 -
正社員外要員(期中平均)	8,087人	7,987人	7,938人	7,400人	7,400人
(事業別売上高)					
楽器	1,285億円 (64.5%)	1,342億円 (64.0%)	2,577億円 (63.1%)	2,715億円 (62.9%)	2,715億円 (62.9%)
音響機器	530億円 (26.6%)	576億円 (27.4%)	1,155億円 (28.3%)	1,245億円 (28.8%)	1,245億円 (28.8%)
その他	177億円 (8.9%)	181億円 (8.6%)	351億円 (8.6%)	360億円 (8.3%)	360億円 (8.3%)
(事業別営業利益)					
楽器	188億円	166億円	321億円	355億円	355億円
音響機器	48億円	52億円	104億円	120億円	120億円
その他	10億円	21億円	17億円	25億円	25億円
(単独の状況)					
売上高	1,187億円	1,223億円	2,158億円		
営業利益	107億円 (9.1%)	156億円 (12.7%)	156億円 (7.2%)		
経常利益	185億円 (15.6%)	251億円 (20.5%)	266億円 (12.3%)		
当期利益	234億円 (19.7%)	206億円 (16.8%)	340億円 (15.7%)		

\* 1 当期利益=親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

\* 2、6 為替レートは、利益に影響を及ぼすヤマハの輸出入決済レートを記載しています。

下期為替レート US\$=110円、EUR=125円 (ユーロについては3Q:130円、4Q:132円で予約済み)

\* 3、4 ROE・ROAは年換算値

\* 5 要員数=期末社員在籍数

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。